

0課の女 赤い手錠（ワッパ）（1974）

メディア 映画

ジャンル サスペンス ドラマ エロティック

製作国 日本

色彩 Color

時間 88分

初公開日 1974/05/21

【解説】

篠原とおるの原作コミック「0課の女」初の映画化作品。神波史男と松田寛夫による脚本を野田幸男が監督した。暴力をふるわれても強姦されても表情ひとつ変えないヒロインを杉本美樹が熱演。郷えい治や荒木一郎など、濃厚なサブキャラたちも映画のアクセントになっている。

特殊捜査を秘密裏に進める警視庁0課に所属する女刑事の零は、罪を免れていた外交官を射殺し留置場に入れられ、女囚たちから激しいリンチを受ける。刑務所を出所したばかりの仲原はカップルを襲い男を殺害するが、強姦した女が大物政治家の娘と知り誘拐、父親に身代金を要求した。政治家は娘を取り戻し犯人をすべて始末するよう命令。警察は零を釈放し犯人グループのもとへ送り込んだ。

【クレジット】

監督 野田幸男

企画 吉峰甲子夫

原作 篠原とおる

脚本 神波史男

松田寛夫

撮影 中島芳男

美術 桑名忠之

編集 祖田富美夫

音楽 菊池俊輔

助監督 沢井信一郎

出演 杉本美樹

郷えい治

丹波哲郎 Tetsuro Tamba

荒木一郎

小原秀明

管原直行

遠藤征慈

室田日出男

三原葉子

岸ひろみ